

いきいき マインタウン

まちで起こった出来事や気になるあの人を紹介します



竹で作られたクリスマスツリー（にぎわいの森）

メイド・イン・立田地区のイベント

ほつまらくいち 秀真楽市

11月21日（日）、藤原町立田地区（篠立・古田）の住民が出店する「秀真楽市」が旧立田小学校で開催されました。これは、住民同士のコミュニティの場を作り、地域内外の人と交流しようと2020年9月から始まったイベントです。会場には、篠立の湧き水で入れたコーヒーや地域で採れた柿などが並び、多くの来場者が訪れました。

古田の自宅で藍染め体験を行っているAI WORKSの太田真衣さんは、「今回で4回目の出店です。イベントの看板作りなど、地域の人と協力して準備してきました。知り合いが増えて楽しいです」と話しました。東員町から訪れた矢神直人さんは「地域の人でイベントを作り上げているのが素晴らしいですね」とアットホームな空間を楽しんでいました。



1.2.多くの人でにぎわう会場 3.藤原小学校4年生の高田穂奈美さんは、手作りのキャンドルとせっけんの店を姉と出店。「みんな協力して出店するのが楽しい」と話しました

小さな選手が園庭を駆けまわる！

サッカー教室

11月18日（木）に、員弁東保育園で、三重県サッカー協会によるサッカー教室が開かれました。年中、年長クラスが参加し、ボールを手で自陣へ運ぶ「ありさんゲーム」や、40個以上のボールで行うサッカーなど、たくさんの競技を楽しみました。サッカー中は、つい手を使いそうになってハットする子や、2人仲良く1つのボールをゴールへ蹴り入れるなど、園児たちのさまざまな姿が見られました。

1.準備運動中もニコニコ 2.ゼッケンを宙に投げてキャッチする準備運動 3.「ありさんゲーム」。急いで自陣へ！ 4.5.ボールを夢中で追いかける園児たち 6.チームの勝利に思わず体が跳ねました



北勢中学校の職業体験

地域の仕事を動画に

11月26日（金）、北勢中学校2年生による動画発表会がありました。新型コロナウイルスの影響で、例年行っている職場体験を実施できませんでした。そこで、市内の事業所取材して、動画を作成することで、地域の仕事について学びました。

生徒は10月から1カ月にわたって、企画・撮影・編集を行ってきました。働く人にインタビューをしたり、自分たちでレポートをしたりと、仕事内容や仕事のやりがいや工夫をこらしていました。



1.タブレットを使って、動画の撮影から編集まで行いました。音楽や効果音、テロップを活用して作成しました
2.順番に動画を上映



「死ぬ」を学ぶと「生きる」を考える？

アチラとコチラ

11月28日（日）、いなべ暮らしの保健室によるイベント「アチラとコチラ」が行われました。ひつぎに入る「納棺体験」や、葬儀で出される「とうがらし汁」の試食、死と生にまつわる絵本を集めたミニ図書館などのブースが設けられ、高齢者から子どもまで幅広い層が集まりました。

参加者たちは、「自分の最期を考えるきっかけになった」「棺桶に入るのは初めてで、新鮮な体験だった」と感想を述べていました。



1.納棺体験の様子 2.絵本を楽しむ家族 3.縁起でもない話をゲームで体験する「もしバナゲーム」

園庭を離れて野外で行事

トトロの森で焼き芋

12月10日（金）、石榑保育園の園児が、「トトロの森」と呼んで親しむ場所で、集落支援員の才賀美奈さんに火の準備から焼き方まで教わりながら焼き芋をしました。

使用したサツマイモは、園児がつるさしや芋ほりをしたものです。焼き芋の準備は、役割分担を決め5歳児が中心となって進行。火を付ける役の子たちは、みんながじっと見守る中、落ち着いてマッチをすり、新聞紙に火を付けていました。

芋が焼きあがると、「ワ～ッ！」と歓声が。5歳児が焼きたての芋を割り分けて、小さい子たちから順番に配り、みんなでホクホクの焼き芋を夢中になって食べていました。

3～5歳児合同での野外行事は初めての試み。自然の中で一つのことをみんなで協力したり、5歳児は小さい子たちに優しく教えたりと、心もお腹も満たされた一日でした。



1.初めてのマッチ。緊張しながら火を付ける 2.才賀さんの話をじっと聞く子どもたち 3.上手く割れたよ 4.5.あまーい焼き芋に笑顔がこぼれる 6.芋を焼き場に並べる役。熱い炎をさけながら火に近づいて、そっと並べる